

SOUSAKU

創作手工芸

CONTENTS

会長挨拶	2
平成23年度事業計画	3
第44回創作手工芸展作品公募要項	4
投稿	4
平成22年度全国支部長・教室長会	5
講習会お知らせ(第7回～第10回)	5
海外研修について	5
資格について	6
免状取得者(平成22年度)	6
資格取得へのおすすめ	6
未来に輝ける人	6
チャリティ作品の募集	7
新入会員紹介	7
同好会だより	8
事務局だより	8



「手工芸美学」について

(財)日本手芸作家連合会

会長 花村 邦 昭

美学者・哲学者である今道友信先生のご著書『美学と芸術理論』によりますと、「美」には自然美と芸術美があるとされます。先生によれば、自然美とは、自然の中で自分自身が融けほぐされて自由になり、解放されたような心持ちになることであり、芸術美とは、作品を作り上げることで自分自身のあるべき本当の姿に出会える楽しさや喜びを体感することである、とされています。そして、この自然美と芸術美がともに包摂されたものが本当の「美」なのだと仰有います。つまり、人間が自然や周りの環境条件などに巧みに適応しつつ、そこに自分らしい何か新しいものを発見し、創造し、発展させていくこと、これこそが「美」であり「喜び」なのだという事です。

私は最近の哲学用語を使って、前者の「環境条件への適応」を“アフォーダンス”と呼び、後者の「発見、創造、発展」を“アブダクション”と呼んでいます。手工芸はまさにこの“アフォーダンス”と“アブダクション”の二つが縋い交ぜになったところで成立する高度な「技芸」すなわち「芸術」なのだろうと思っています。われわれが目指している「手工芸」もそれ自体一つの「美学」だと云うことです。

人間の営みは、職業人生活であれ、家庭人生活、あるいは社会人生活であれ、すべてはこの“アフォーダンス”と“アブダクション”の両面から成り立っています。つまり、人間はみな自分が置かれている状況に適応し、試行錯誤を繰り返しながらも、いろいろな物を創造したり仕事を組み立てたりして、そこに自分らしい個性をつと発見・創造しながら、周りの環境条件や四囲の状況をよりよい状態へと発展させていきます。そのことは皆様が手工芸作品を制作なさるときにつねに実感しておられることではないでしょうか。

そうであるなら、手工芸こそは、我々のすべての生活局面の根底にある文化的伝統に深く根ざした技芸だと云うことができます。我が国の産業・企業が諸外国に比べて非常に高く評価されているのにも根底にそれがあります。高品質の素材とそれを元にした高度精密加工部品の開発、それらを創意工夫しながら丁寧に組み合わせることで他が追随できない高機能製品を作り出す製造システム、これらの根底には日本の手工芸文化が深く強く息づいています。このように＜日本の文化的伝統——手工芸文化——日本産業＞は互いに重なり合って互いを支え合っています。

我々の「日本手芸作家連合会」の活動が、このような日本文化の伝統を継承し、かつ我が国の産業基盤を根底で支え、その発展の一翼を担っているのだとしたら、こんな意義深いことはありませんし、また悦ばしいことはありません。

皆様もどうか手工芸の意義を深くお考えいただき、本連合会のいっそうの発展に今後ともさらなるご支援、ご盡力をいただけますよう、改めてお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご精進とをご祈念申し上げて私の挨拶とさせていただきます。



平成23年度 事業計画

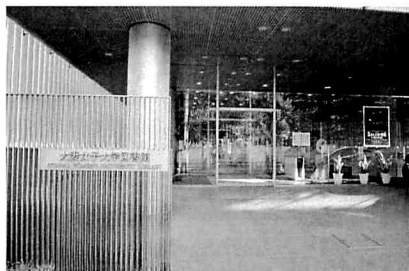
去る3月26日に開催されました理事会・評議員会において、平成23年度の事業計画案1～6が承認されました。前年度の財務に関連して、理事をはじめ、みなさまのご協力を得て順調に推移いたしておりますこと深く感謝申し上げます。寄附行為に掲げる手工芸教育・生涯学習の普及発展に寄与するため、一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

本会の活動内容は機関誌・ホームページに公開しております。

1 第44回創作手工芸展について

東京都美術館の大規模改装工事に伴い、昨年に続いて大妻学院理事長、本会会長 花村邦昭氏のご好意により、本年も大妻学院 千代田キャンパス内で開催します。多数のご出展を期待しております。

- 会 場 大妻女子大学図書館棟内 生活科学資料館 B1階
会 期 平成23年11月10日(木)～11月17日(木) 13日(日)休館
時 間 午前10時～午後5時 (最終日は午後1時まで) 入場は閉館の30分前まで
後 援 文部科学省、東京都、NHK厚生文化事業団、読売新聞東京本社 (予定)



2 資格認定者への免状等授与について

平成23年度の資格認定者に対する修了証、免状授与式を執り行います。

- 日 時 平成23年11月16日(水) 午後2時～
会 場 大妻学院 本館 B2階 第1ゲストルーム

3 研修会

今年度の研修会はケルト文化研究者として著名な鶴岡真弓氏をお招きして講演会を行います。

- 日 時 平成23年11月12日(土) 午後2時～午後3時30分
場 所 大妻女子大学千代田キャンパス 大学校舎 6階657室
演 題 ケルト文化と手工芸
講 師 多摩美術大学教授 鶴岡真弓氏
参加費 無料

4 機関誌・パンフレット等の刊行

今年度も機関誌「創作手工芸」を年2回発行する他、本連合会の案内書(パンフレット)を増刷し、広く本会のPRに供します。

5 社会福祉への協力

恒例になっておりますが、創作手工芸展の会期中にチャリティバザーを行い、その収益金を社会福祉団体(NHK厚生文化事業団)に寄付いたします。本年は東日本大震災の被災地への義援金といたします。

6 講習会のお知らせ 月1回開催

手工芸技術の習得向上を広くはかるため、受講者対象を正会員・準会員・学生・一般・ジュニアとし、受講テーマ毎に多様な手工芸作品が習得できます。

第44回創作手工芸展 公募「きずな」募集要項

第44回創作手工芸展 公募「きずな」の展覧作品を下記の要領にて募集いたします。

(1) 募集作品

未発表の手工芸作品

(2) 募集期間

平成23年10月3日(月)～10月8日(土)

(3) 出品手続

所定の申込書に必要事項を記入の上、作品の写真(カラー・ハガキ大)を2葉添えて本連合会事務所にお申し込みください。

(4) 作品規格

- ① 壁面(屏風含む)・平面・立体共に180cm×180cm×奥行90cm以内
- ② 重量(木枠含む) 50kg以内
- ③ こわれやすいもの・生木・生花不可

(5) 応募費用

- ① 一般 10,000円
- ② 会員 8,000円
- ③ 学生 5,000円

*振込先：本会のゆうちょ銀行指定口座へ送金のこと
郵便振込口座番号「00100-5-85006」
財団法人 日本手芸作家連合会

(6) 審査期日

平成23年10月24日(月)

(7) 審査員(五十音順・予定)

大矢 紀(日本美術院同人、評議員)
小笠原小枝(日本女子大学名誉教授)
高部 和子(元文部省視学官)
田口 義明(漆芸作家、山形芸術工科大学非常勤講師、紫綬褒章受章)
鶴岡 真弓(多摩美術大学教授)
花村 邦昭(財団法人日本手芸作家連合会会長)
林 泉(文化女子大学教授)

(8) 賞

文部科学大臣賞・東京都議会議長賞・大妻コタカ賞・日本手芸作家連合会会長賞、審査委員長賞・新人賞・奨励賞・佳作 特別賞(協賛会社)

(9) 式典(免状授与式・表彰式)・祝賀会

日時 平成23年11月16日(水) 午後2時～4時
会場 大妻学院 本館B2階 第1ゲストルーム

(10) 出展等の問い合わせ先

財団法人 日本手芸作家連合会事務所



投 稿



支部・教室・会員のみなさまの活動をお知らせする投稿欄です。

一針一針に復興への祈り

東日本大震災チャリティー刺し子体験教室

遊佐刺し子ギルド 土門玲子

遊佐刺し子の歴史と魅力を発掘し、発信する活動を目的として日々を過ごす中、今回の震災で「何が出来るか？」考え、4月24日少ない公募日の中60名ほどの参加を得て町の生涯学習センターで「復興の祈り」遊佐刺し子体験教室を行いました。

伝承「遊佐刺し子」には「家族を守りたい」という願いが文様にあらわれています。参加者は針に祈りを込めて巾着袋を作りました。

材料費・参加費はすべて寄附させていただきました。

* ニードルワーク研究会

日 時：平成23年9月23日(祝)
午前10時30分～午後4時
場 所：土井教室(世田谷区等々力3-10-3
山田コーポ103) TEL 03-5706-1994
テーマ：欧風刺繍の図案について
講 師：土井イミ子
参加料：無料
定 員：8名

* 第19回 創作手工芸 梅支部展

内 容：梅支部会員の作品展
日 時：平成23年10月12日(水)～10月16日(日)
午前9時～午後5時
場 所：NHK福岡放送局 NHKギャラリー
主 催：(財)日本手芸作家連合会 梅支部
後 援：NHK厚生文化事業団九州支部
協 賛：トライ・アム・サンカクヤ
目 的：生涯教育をめざして

投稿希望の方は事務所までFAXまたは郵送にて御連絡ください。

平成22年度全国支部長・教室長会開催される

昨年10月26日（火）午後5時15分より大妻学院第2ゲストルームにおいて、1年ぶりに支部長・教室長会が開催されました。初めに新会長花村邦昭氏が挨拶の後、出席者の自己紹介があり、石井副会長の司会で議事が進行し、充実した討議がなされました。

1 報告事項

① 事業報告、② 財務報告

花村会長より前年度の事業報告並びに財務報告の決算について資料に基づき報告が行われた。

2 今後の会の運営について

新会長花村邦昭氏を囲んで今後の会の運営について、忌憚のない意見交換が行われた。

手工芸への興味をジュニア世代から始めること、会員へのメリットを明確にすることなど時代に適応した魅力ある会運営を図ることで閉会しました。



講習会お知らせ(後期)



毎月第2土曜日 午前10時30分～午後3時30分

本会の先生方による講習会です

参加費は材料込み3,000円前後です。

場 所 東京都中央区京橋1-1-6 (株)越前屋 8階

手芸教室にて開催いたします。

7月 ハンドクラフトペーパーフラワー

講師 富田光枝先生 7月9日終了

8月 夏休みとなります。

9月 ハーダンガーブックカバー

講師 本橋雅恵先生

10月 ソーイングセット（欧風刺繍）

講師 土井イミ子先生

11月 創作手工芸展のためお休みとなります。

12月 毛糸のルームシューズ

講師 道家絢子先生

会員、一般、学生の皆さまの御参加をお待ち致しております。

・申込み先 本連合会事務所 F A X 03-5882-5140

◎特別講習会（地域交流を目的として）

お正月向きの手芸品です。皆様一緒に作ってみませんか。

テーマ：お正月用初鏡餅「三方付き」

日 時：平成23年11月14日（月） 10：00～15：00

場 所：大妻コタカ記念会館 3階

講 師：管原美東先生

費 用：学生1,000円、会員2,000円、一般2,500円

申込先：（財）日本手芸作家連合会 事務所

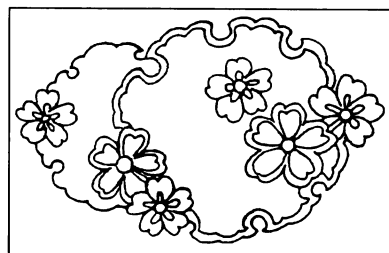
T E L 03-5282-5141

F A X 03-5282-5140

国内研修・海外研修について

東日本大震災による余震が続いておりますので国内外旅行は様子見の状態ですが、国内研修・海外研修を計画しております。作品展、美術館等の見学、各国との文化交流、手作り作品の即売等、来春には実施したいと思います。ご希望のところがありましたら事務所までお知らせください。

国内担当（土井） 国外担当（富田）





資格について

当連合会は手工芸教育の普及発展を目的として、手工芸指導者の養成教育（資格認定・免状授与）、手工芸セミナーなどへの指導者の派遣、社会教育としての指導者の派遣（中学・高等学校）、生涯教育の指導者派遣などを通して国内外にて手工芸技術・技術向上のための研修会、講習会を実施しております。資格制度については本会の「ご案内」参照。

平成22年度免状取得者

教室登録	土 門 玲 子（山形県）
講師	佐 藤 美恵子（茨城県）
〃	土 門 玲 子（山形県）
〃	福 田 博 子（神奈川県）
〃	横 畠 留 美（広島県）
高等科	佐 藤 美恵子（茨城県）
普通科	大 塚 こずえ（山梨県）

◎資格取得へのおすすめ

日本手芸作家連合会はさまざまな手芸の分野で手芸作家として資格を取得し、趣味を通して共通の友とグループ活動を楽しみ、制作作品は自分の希望がみえて来ます。

年齢を重ねるごとに趣味の内容が充実し、共に制作する人にとっても、指導する人にとっても生涯学習の満足が実感です。

資格は活動指導していくのに自分自身の自信、周りへの信頼につながるのではないかと思います。（財）日本手芸作家連合会は手工芸作家の集りです。

資格取得は生涯学習の宝です。 担当（土井）

未来に輝ける人



新人賞を受賞した方々からのメッセージです。

「暁」

池田節子さん

第43回創作手工芸展において、染織タペストリー「暁」で新人賞を受賞いたしました。作品は経糸に細い麻糸と絹の強撚糸を用いて糸の差異による変化で、織布の凹凸を表し立体感を表現してみました。色彩は黒褐色から暗い赤でグラデーションにしてまとめ、織布の内部から外へ灯りがもれるイメージで制作しました。写真は大学の織物実習室です。今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。



「眺春開花」

齊藤佐和子さん

種目：欧風刺繍

今W杯で“なでしこジャパン”が優勝して皆さん飲んでおります。これも毎日の努力が生み出した結果だと思います。手工芸も日頃の積み重ねが大事で一日一日楽しみが出て来て夢も大きく広がって来ました。賞を頂いたと云う事は当時にも増して今しみじみとよろこびを味わっております。教えて頂いた先生初め皆さまのお蔭だと感謝いたしており、本当に有難うございました。一層手芸に務めて行きたいと夢一杯です。本当に有難うございました。

「ピサの斜塔3999年」 大木美津江さん

種目：シャドーボックス

趣味が与えてくれる智恵と出会いに感謝しております。シャドーボックスは既製絵柄を数枚使用しますが、今後も描く、染める、を加え自由に変化させ、よりオリジナリティーな作品を目指したいと思います。「ピサの斜塔3999年」は訪問時、崩壊図をイメージしましたが、お国の方に失礼と思い45度で止め図案化しました。現角度を維持している人類に感服です。

「ビバ・ソー・カービング」 増田栄子さん

「揺」

佐久間恭子さん

第43回展では、新人賞を頂きありがとうございます。シルク（セリシンつき）の糸をを緋に染め二重織の表裏を交差させ動きを出した“揺”というテーマの作品です。日常の様々なことに追われながら生活する中で、“創作手工芸展への出品”という目的を持ち作品を制作することの楽しさと幸せを改めて感じる今日この頃です。デザイン・素材・表現技法など、オリジナリティーを大切に新鮮な作品にチャレンジしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくご指導をお願いいたします。



第44回創作手工芸展チャリティ作品の募集

— 東日本大震災の復興への願いをこめて
個々の作品に想いを一つに —



東日本大震災において被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

第44回創作手工芸展チャリティは被災地に灯したいと義援金に向けて作品を募集いたします。昨年のチャリティの品物は全て完売しました。本年は皆様に多大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

チャリティ担当 (庄子・木嶋・根津)



平成23年11月10日(木)～
11月17日(木)
11月13日(日)は休館



チャリティ作品募集要項

1. 大妻女子大学図書館棟 B 1 階
生活科学資料館 創作手工芸展にて販売
2. 作品は手工芸作品
3. 売上金は東日本大震災の被災地へ
4. チャリティ作品は連合会事務所へご送付ください。
随時受け付けいたします。



新入会員紹介

大塚 多美子 (東京都)
飯田 キエ子 (東京都)
斉藤 妙子 (東京都)
鈴木 朋世 (東京都)
池田 節子 (神奈川県)
佐久間 恭子 (東京都)
大網 美代子 (東京都)
田京 はるみ (静岡県)
大塚 昌子 (東京都)
森 真理子 (静岡県)
増田 栄子 (東京都)
石原 道子 (東京都)
廣瀬 悦子 (東京都)
内藤 歩美 (東京都)
斉藤 啓子 (東京都)
久間 香奈子 (埼玉県)

杉田 真由美 (広島県)
堀木 れい子 (沖縄県)
中村 幸雄 (東京都)
伊藤 こま (神奈川県)
山形 光枝 (神奈川県)
辻 恵子 (神奈川県)
阿比留 和子 (神奈川県)
清友 晴子 (千葉県)
鈴木 昌子 (東京都)
福原 美津子 (神奈川県)
佐藤 リヨ子 (神奈川県)
佐々木 節子 (広島県)
安沢 元子 (東京都)
下村 和子 (東京都)
長島 早苗 (神奈川県)
細川 直子 (東京都)

田中 恵 (島根県)
山本 美和子 (東京都)
豊田 美佐子 (埼玉県)
小林 和子 (広島県)
土門 玲子 (山形県)
横田 圭子 (東京都)
都甲 (福岡県)
櫻庭 あい子 (山形県)
池田 ちゑ (山形県)
村岡 三喜子 (京都府)
梶間 充子 (兵庫県)
葛見 真美 (埼玉県)
佐藤 登美子 (東京都)
斉藤 佐和子 (東京都)
渡部 秀美 (東京都)



同好会だより

俳句同好会が発足し、毎月第4土曜日の会議終了後大妻学院 ゲストルームにて開催しております。

避難所の子等に嬉しき梅雨晴間	鎮魂の花に被災地立ち上がる
梅雨滂沱しずみ浮橋遠賀川	山門の木漏れ日の中遍路鈴
花村 邦昭	平山美智子
枝垂桜くぐり抜けたる刺繍展	福島の中へ霊笛桜散る
大川の風を見ている走り梅雨	六仏のそかかと祈り卯浪寄す
石井とめ子	平本 瑩子
停電の銀座の闇に桜散る	花は葉に子は皆親の齢を越え
梅雨雲のアートに接し心なごむ	ジーパンもサリーも闊歩夏銀座
山見 博康	菅原 美東
幼な子と子をつなぎける桜東風	俳句を通して会員の方々との交流を深めてま
花水木咲きベランダに枕干す	いりたいと思っております。皆様の参加をお待
鈴木 章子	ちしております。
校庭に並ぶ自転車新学期	
草笛を吹く廃校の活断層	担当(菅原)
富田 光枝	

事務局だより

★事務所への最寄り駅

J R お茶の水駅下車 5分 小川町郵便局の近く、八木書店前
都営新宿線・半蔵門線 神保町下車5番出口

★平成23年度継続会費の納入をお願いいたします。

★創作展開催中の宿泊施設の御案内

アルカディア市ヶ谷(私学会館)

地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(A1-1)出口から徒歩2分

地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1-1・A4)から徒歩2分

J R 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

本会事務局にて予約を受け付けます。ご希望の方は早めにお申し込みください。満室になり次第締め切らせていただきます。なお、宿泊費はアルカディア市ヶ谷に直接お支払いください。

特別料金・シングル 8,000円 ・朝食付き 9,050円です。

申込先は日本手芸作家連合会事務所です。FAXにて申込み下さい。

FAX 03-5282-5140 TEL 03-5282-5140



編集後記

前号より機関誌は時代のニーズにマッチした内容に一新しました。今誌は「きずな(絆)」をテーマに提案して皆様の発表をご期待しています。また、より良い内容をと腐心いたしております。

ご意見などもお寄せくださいますようお願いいたします。

題 字：中村 幸雄

(編集部一同)

表紙作品：北原 真実

発効日/2011年8月30日

発行/(財)日本手芸作家連合会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6-10

M・Oビル 407号室

TEL 03-5282-5141

FAX 03-5282-5140

E-mail:info@syugei-sakka.jp